



株式会社UKCホールディングス
2014年(平成26年)3月期第2四半期決算 補足説明資料

2013年11月8日



株式会社 UKCホールディングス





目次

2014年3月期 第2四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2014年3月期 第2四半期 ハイライト	5
2014年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業	6
2014年3月期 第2四半期 電子機器事業	7
2014年3月期 第2四半期 システム機器事業	8
2014年3月期 第2四半期 財政状態(バランスシート)	9
2014年3月期 第2四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)	10

2014年3月期 通期連結業績予想

2014年3月期 通期連結業績予想	12
-------------------	----





2014年3月期 第2四半期決算(連結)概況



事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料

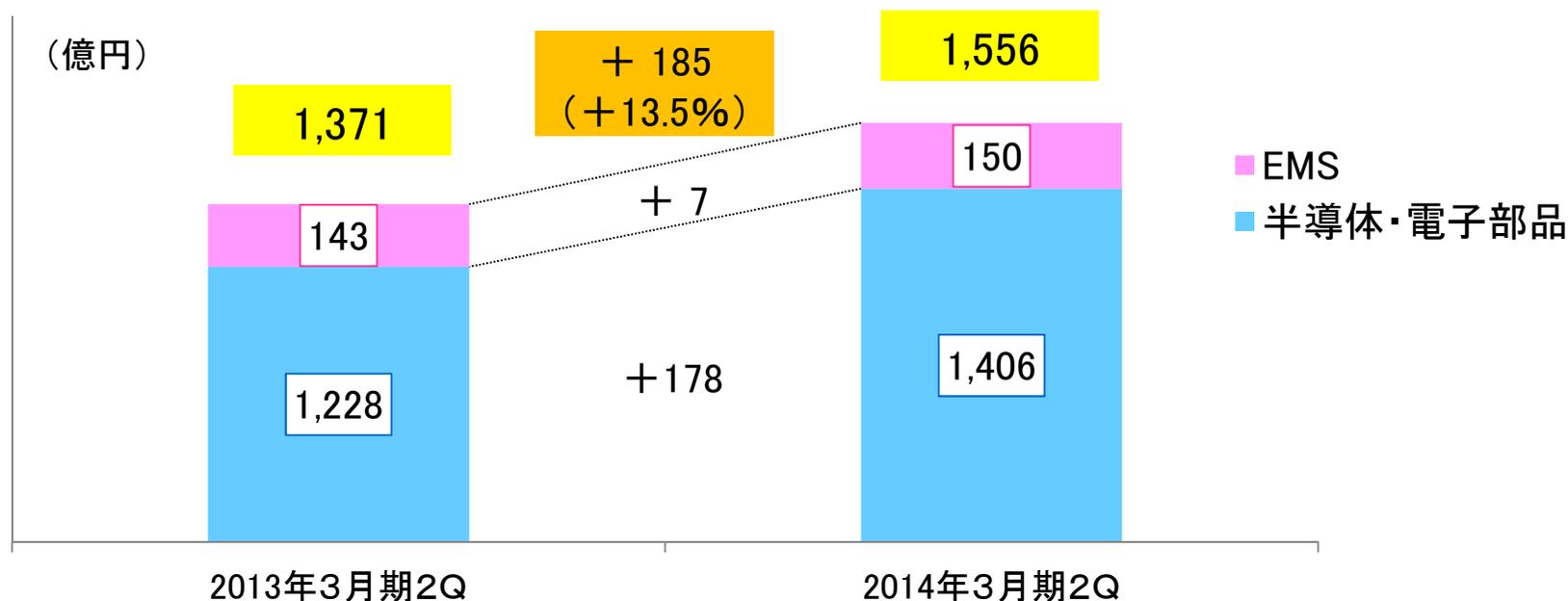


2014年3月期 第2四半期 ハイライト

(単位:百万円)	2013年3月期2Q累計 (実績)		2014年3月期2Q累計 (8月9日修正予想)		2014年3月期2Q累計 (実績)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	144,772	100.0%	160,000	100.0%	164,092	100.0%	+19,319	+13.3%
売上総利益	9,672	6.7%	9,400	5.9%	9,706	5.9%	+34	+0.4%
SGA	5,301	3.7%	5,500	3.4%	6,534	4.0%	+1,233	+23.3%
営業利益	4,371	3.0%	3,900	2.4%	3,172	1.9%	▲1,198	▲27.4%
経常利益	3,769	2.6%	3,900	2.4%	3,114	1.9%	▲654	▲17.4%
四半期純利益	1,978	1.4%	2,600	1.6%	1,792	1.1%	▲185	▲9.4%
EPS(円)	125.99		165.62		114.16			

- 事業本体は、8月9日修正予想を上回る進捗率で推移
- 売上高: 前年同期比+193億円(+13.3%)
海外のスマートフォン向けイメージセンサー、タッチパネル等の販売増や自社工場におけるEMS事業の増収が貢献
その一方で、デジタルスチルカメラ向けは市場の停滞により減収
- 売上総利益: 前年同期比+34百万円(+0.4%)
相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、利益率は減少したものの、増収効果により利益額は前期比微増
- 営業利益: 連結海外子会社において、回収に疑義の生じた売掛金に対して保守的にその全額を貸倒引当金に計上(10.4億円)
それに伴い、SGAが大幅に増加し、営業利益は前期比大幅減
- 経常利益: 為替差損の大幅な改善(4.5億円)はあったものの、貸倒引当金の影響で減益
- 四半期純利益: 前期計上の退職特別加算金の影響は剥離したものの、貸倒引当金(損金不算入)大幅増の影響により減益

2014年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業



セグメント利益(百万円)

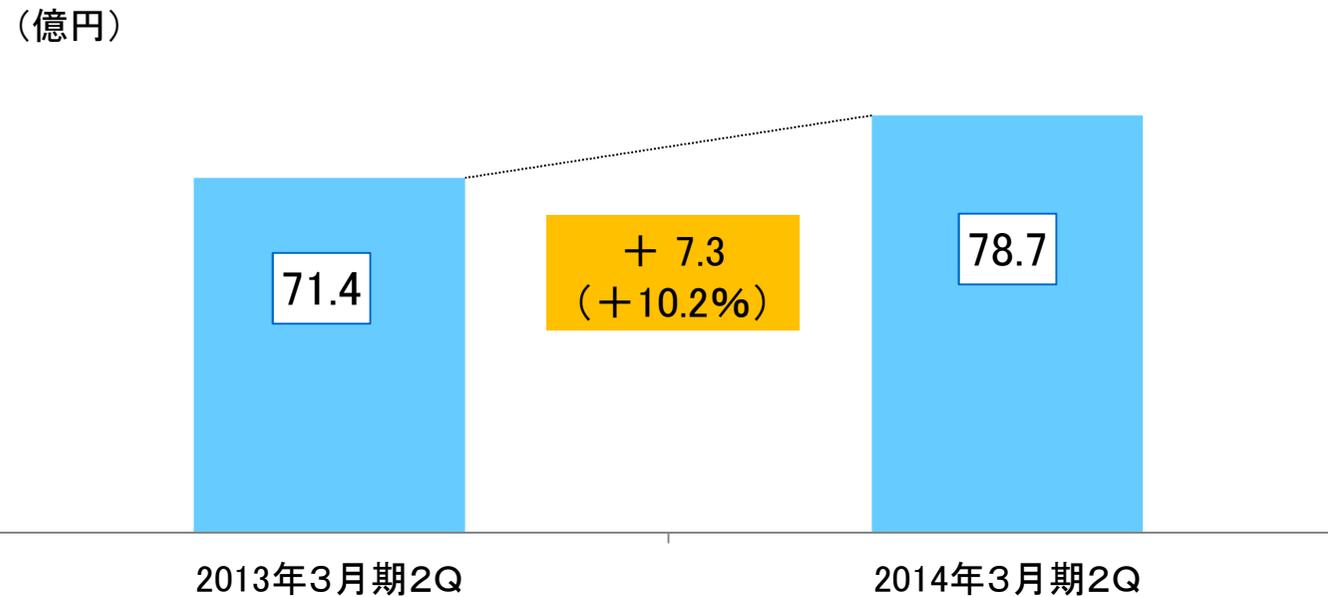
4,286

3,193

- ソニー半導体、電子部品
デジタルスチルカメラ向けは低調だったものの、海外スマートフォン向けのイメージセンサーの販売が好調
- その他半導体、電子部品
スマートフォン向けタッチパネル、車載向け液晶パネル、素材系商材の販売が堅調
- EMS: 中国自社工場(液晶モジュール基板実装)が好調。ファブレス事業はDSC市場停滞の影響で低調
- 海外子会社における貸倒引当金の計上(10.4億円)に伴い、セグメント利益は前年同期比大幅減

※今期より、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管。また、前期まで、配賦不能費用として全社費用に含めていた報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を今期より各セグメントへ配賦。この変更を遡及して前期実績にも反映

2014年3月期 第2四半期 電子機器事業



セグメント利益(百万円)

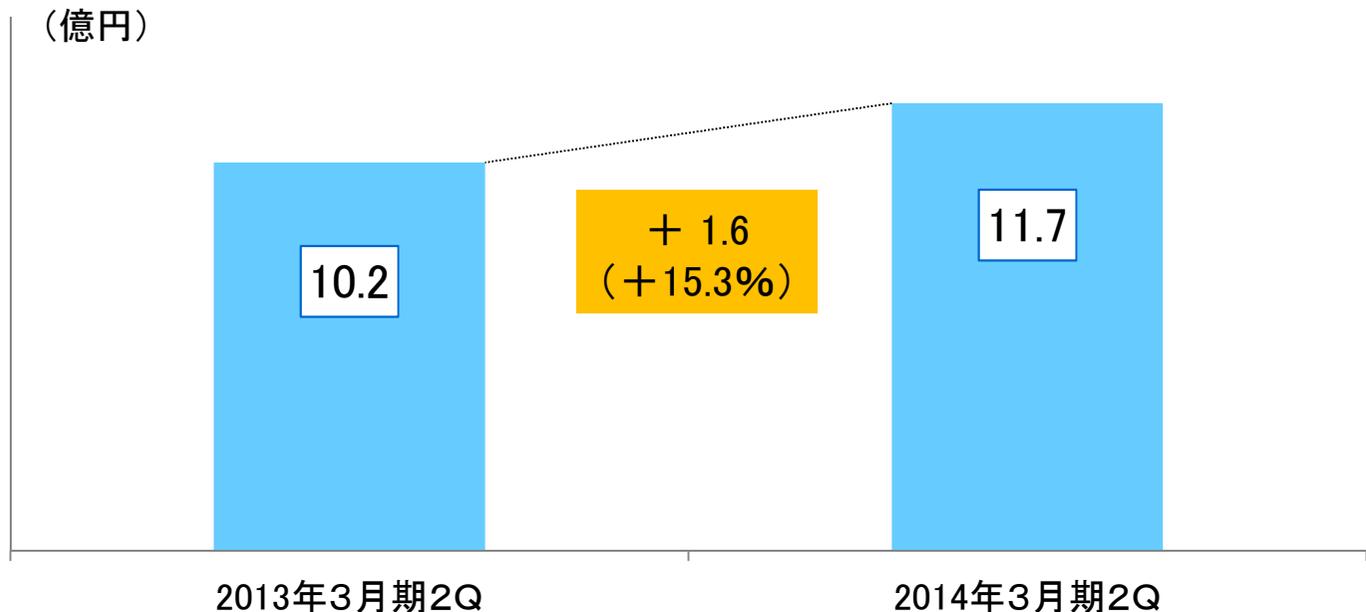
32

▲0

- 景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資が改善傾向
一般企業、監視カメラ顧客、教育機関、医療向けを中心に増収
- 市場競争の激化に伴う粗利率の減少とSGA増加により、セグメント利益は前年同期比減



2014年3月期 第2四半期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

118

94

- 非接触ICカード関連ビジネス
デジタルサイネージや電子マネーの社会的な広がりに伴い、自社開発製品を中心に伸長
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
顧客の需要停滞に伴い、試験数が減少したことにより減収
- 比較的高利益率の試験・分析サービスの減収により、セグメント利益は前年同期比減



2014年3月期 第2四半期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)		13/3月末	13/9月末	前期末比	主な増減要因
流動資産計	現預金	12,601	17,551	+18,363	<ul style="list-style-type: none"> ・売上債権 + 12,455百万円 ・現預金 + 4,949百万円 ・棚卸資産 + 1,647百万円
	売上債権	65,119	77,575		
	棚卸資産	24,091	25,739		
	その他	6,536	5,637		
	流動資産計	108,349	126,502		
固定資産計	5,874	6,084	+16,405	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務 + 19,728百万円 ・長期借入金 + 2,998百万円 ・短期借入金※▲ 5,136百万円 ・未払法人税等▲ 1,414百万円 	
総資産	114,223	132,586			
流動負債計	仕入債務	35,371			55,100
	短期借入金※	25,232			20,096
	その他	4,410			3,298
流動負債計	65,014	78,495	+1,957	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期純利益 1,792百万円 ・為替換算調整勘定 + 909百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲ 627百万円 	
固定負債計	長期借入金	2,610			5,608
	その他	1,196			1,121
固定負債計	3,806	6,730			
純資産	45,402	47,360	▲4.0%	売上増に伴う総資産の増加により39.4%から35.5%に低下	
自己資本比率	39.4%	35.5%			
BPS(円)	2,869.23	2,994.95			

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む



2014年3月期 第2四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)

(百万円)	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	主な増減要因	
営業 CF	▲7,454	7,540	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務の増加 ・税金等調整前四半期純利益 ・貸倒引当金の増加 ・売上債権の増加 ・法人税等の支払額 ・たな卸資産の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 16,290百万円 3,105百万円 992百万円 ▲9,672百万円 ▲2,348百万円 ▲909百万円
投資 CF	▲1,261	▲258	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 	<ul style="list-style-type: none"> ▲165百万円
財務 CF	5,721	▲4,071	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金の純増 ・短期借入金の純減 ・配当金の支払額 	<ul style="list-style-type: none"> 806百万円 ▲4,181百万円 ▲627百万円
現金及び 現金同等物	13,377	15,473		



2014年3月期 通期連結業績予想



2014年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2013年3月期通期		2014年3月期第2四半期累計 (実績)				2014年3月期通期 (5月10日予想)		
	金額	構成	金額	構成	前年比	進捗率	金額	構成	前年比
売上高	284,508	100.0%	164,092	100.0%	+13.3%	56.6%	290,000	100.0%	+1.9%
売上総利益	17,851	6.3%	9,706	5.9%	+0.4%	-	-	-	-
SGA	10,490	3.7%	6,534	4.0%	+23.3%	-	-	-	-
営業利益	7,360	2.6%	3,172	1.9%	▲27.4%	42.9%	7,400	2.6%	+0.5%
経常利益	8,162	2.9%	3,114	1.9%	▲17.4%	44.5%	7,000	2.4%	▲14.2%
当期純利益	5,025	1.8%	1,792	1.1%	▲9.4%	39.8%	4,500	1.6%	▲10.5%
EPS(円)	320.14		114.16				286.65		

- 第2四半期連結累計期間は、スマートフォン向けの部品事業やEMS事業が伸長するなど事業本体は順調に推移。しかし、海外連結子会社における貸倒引当金の計上(10.4億円)に伴い、利益は減少
- 第3四半期以降においては、国内景気は比較的堅調な見通しであるものの、長引く欧米の債務問題や中国をはじめとした新興国の成長鈍化等の景気の下振れリスクあり
- 海外連結子会社における売掛金回収の見通し、デジタルスチルカメラやスマートフォン等の市場動向、顧客の動向等、不確定・不透明な要素が多いため、現段階では5月10日公表の通期連結業績予想を据え置く
今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

